

事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表

公表： 2023 年 3 月 31 日

事業所名：ぼのぼの

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点等
環境 ・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		指定基準以上の室内スペースに加え、80平米の園庭もあります。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		指定基準の人員数が2名であるのに対し、基本的に常時4名を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		玄関の段差は昇降の練習のために残していますが、車椅子対応のトイレを設置するなど配慮は心がけています。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		朝夕のミーティングで全員で行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		モニタリング時に行っています。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページ上で公開します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在は行っていません。今後検討します。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		市や県が主催する研修会に加え、所属している障がい児支援協会のオンライン研修に参加しています。また、その内容を全員に周知し、資質の向上に努めています。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		状態とニーズに即した計画の作成を心掛けています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		使用しています。更に、2022年4月からは施設内で行う発達検査も追加して一層の状況把握に努めます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		常に職員全員で行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		成長や発達を見ながら活動プログラムを変えています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		その時々状況に合わせて設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別活動を中心が中心になりますが、意識的に集団活動も取り入れています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		確認しています。

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点等
	⑩	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		共有し、今後の支援の方向性を話し合っています。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげていくか	○		かなり詳しく記録に残し、検証・改善につなげています。
	⑫	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		お便り帳や送迎時の会話から定期的にモニタリングを行い、支援の方向性を確認しています。
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		行っています。
連携関係機関や保護者との連携	⑭	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		アセスメント・モニタリング時だけでなく、毎月の状況報告を相談支援員に行い、必要に応じて学校の先生とも情報共有して協働しています。
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		行っています。
	⑯	就学前に利用していた保育所や放置園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		積極的に努めています。
	⑰	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		卒業以前から、18歳以降を意識した支援を行っています。
	⑱	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		行っています。
	⑲	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		通常時はひと月に3回、地域の子どもたちとの交流の機会を設けています。（コロナの蔓延防止策中は中止していました）
	⑳	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		研修会やセミナーへの参加に努めています。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		お迎えに来ていただいた際など、日常的に伝え合う機会があり、共通理解を持つ環境を整えています。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		お便り帳や送迎時の会話で、お困りごとへの具体的な対処方法や、悩んでいる気持ちが前を向けるような言葉かけの支援を心がけています。
保護者への説明責任等	㉓	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用前の契約時に行っています。
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		まずは保護者の気持ちを受け止めたうえで、助言と支援を行っています。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		開催予定をお伝えし実施しているものの、参加人数が少ないので、今後曜日や時間を工夫します。

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点等
	③②	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		周知しています。何かあったときに声を上げてもらいやすい環境を心掛けます。
	③③	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月初に『ぼのぼの通信』を発行してお知らせしています。
	③④	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報は鍵付きのロッカーにて保管するなど、注意しています。
	③⑤	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		必要に応じて絵カードを用いて意思の疎通を図る、保護者への情報伝達にはお手紙やメールなど伝わりやすい形で行うなどの配慮をしています。
	③⑥	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域に受け入れていただいております。時折、地域のご高齢の方が子どもたちの様子を見にきてくださいます。今後、もっと参加していただける機会を模索しています。
非常時等の対応	③⑦	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	マニュアルはあり訓練しているものの、防犯・感染症の内容について保護者に詳しい説明を行っていなかった為、今後改善します。
	③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		災害発生時や応急処置の方法を目につくところに掲示するなどし、備えています。
	③⑨	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		どういったことが虐待にあたるかといったところから研修を行い、意識を高めています。
	④⑩	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		事前に説明し、計画に記載しています。
	④⑪	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示書およびそれを基にした保護者からの依頼に対応しています。
	④⑫	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの事例集の作成はもちろん、それに至らないように常に考えて改善を重ねています。